

**日本版スチュワードシップ・コードの実施状況の自己評価**  
**2021 年（1～12 月）**

2022 年 5 月 31 日

ティー・ロウ・プライスは、「顧客の成功こそが我々の成功である」という信念に基づき、1937 年にトーマス・ロウ・プライス Jr.により設立されました。以後、「お客様の長期的な資産形成をお手伝いする」というミッションの下、自社のアナリストによるファンダメンタル分析に基づき、長期的な投資ホライズンにてアクティブ運用を主に提供して参りました。我々の責務は、アクティブ・オーナーシップ、モニタリング、建設的な対話、といったスチュワードシップ活動を通じ、顧客の利益を第一に考えることであると捉えています。

当レポートは、ティー・ロウ・プライスによるスチュワードシップ活動の振り返りです。今後も、ティー・ロウ・プライスでは投資家として必要とされる分野に継続的に資本投下し、スチュワードシップ責任の全うおよび高水準の維持に努めていきます。

● **スチュワードシップ責任を果たすための方針等**

	ポイント	原則	評価	コメント
日本版スチュワードシップ・コードの受け入れ状況	コードの受け入れ	-	あり	
	コードを受け入れていない場合の理由	-	-	
スチュワードシップ責任を果たすための方針	方針の内容	1	A	議決権・エンゲージメントをはじめとする各種方針は、ESG コミッティーにより毎年見直しが行われております。
	情報開示	1	A	弊社ホームページにて開示しております。

	各原則に対するコンプライの状況、またはエクスプレインの内容	1	A	サービス提供会社向けの原則 8 を除き、全ての原則に対しコンプライしております。
	方針に変更がある場合、その内容と変更理由	1	A	各種方針は毎年見直しており、適宜更新しているほか、当社ではグローバルに展開する運用会社であるため、各国の規制などを反映し方針を更新する場合があります。2021 年は欧州の規制変更に伴い変更を行いました。気候変動に関する投資方針、サステナビリティへの主要な悪影響に関する方針、人権侵害による投資除外方針、を新たに制定しています。

● スチュワードシップ責任を果たすための方針等

	ポイント	原則	評価	コメント
スチュワードシップ責任を果たすための体制	組織体制	2, 3, 4, 5, 7	A	リサーチ・アナリストやポートフォリオ・マネジャーが、マクロ経済や財務といった従来の投資判断材料と同等に ESG ファクターを考慮する運用主体の体制としています。責任投資、ガバナンスの ESG スペシャリストは運用担当者が投資判断に ESG ファクターを組入れるための支援を行なっています。
	議決権行使の意思決定プロセス	5	A	議決権行使ガイドライン ( <a href="#">こちらへ</a> ) をご参照ください。
	議決権行使 助言会社の 利用状況、利 用目的	5	A	ISS 議決権行使の執行、行使記録保持、リサーチの提供、行使提案を担っています。行使方針・ガイドライン・行使に際し、同社の提案を参照するものの、独自に判断しています。

	体制やプロセスに変更がある場合、その内容と変更理由	2, 3, 4, 5, 7	A	ESG への取組体制につき、社外独立取締役が半数以上を占める取締役会が説明責任を担うようガバナンスを強化しました。
利益相反を管理するための方針	方針の内容	2	A	<p>ティー・ロウ・プライスにおける基本的な利益相反管理方針は倫理規範（Code of Ethics and Conduct）に定めており、<a href="#">ホームページ</a>にて公開しています（英語のみ）。また、以下の方針もご参照ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 利益相反管理方針</li> <li>■ 議決権行使ガイドライン</li> <li>■ エンゲージメント方針</li> </ul> <p>スチュワードシップ活動において利益相反が想定されるケースでは、顧客の利益を最優先し対応することとしています。詳細は「<a href="#">スチュワードシップ・コードについて</a>」をご参照ください。</p>
	情報開示	2	A	弊社ホームページにて開示しております。
投資先企業とのエンゲージメントの方針	方針の内容	4	A	ティー・ロウ・プライスでは長期的に投資目標を達成できると考えられる企業を厳選して投資しています。よって、アクティブ運用との整合性を考え、会社ごとに異なるアプローチで臨むことが最も大きな影響力を持つと考えています。
	情報開示	4	A	弊社ホームページにて開示しております。
議決権行使方針（行使基準）	方針の内容	5	A	ガイドラインは ESG コミッティーにより毎年見直しを行っております。
	情報開示	5	A	弊社ホームページにて開示しております。

● スチュワードシップ活動の結果報告

	ポイント	原則	評価	コメント
議決権行使結果	議決権行使結果	5	A	議決権行使については議案毎の行使結果につき、重要と考える議案についてはその行使理由とともに弊社ホームページに公開しております。また、個別運用のお客様にはご要望に応じ別途開示いたしております。また、開示範囲、頻度、および方法については常時見直しを行って行

				<p>い、スチュワードシップ活動の透明性向上を目指しています。詳しくは<a href="#">議決権行使について</a>をご参照ください。</p>
--	--	--	--	---

	反対・棄権行使議案の具体的内容	5	A	<p>当社では運用会社のスチュワードシップ活動として全ての議案に対し、For(賛成)またはAgainst(反対)の意思表示を行うことを目指しています。一方、どちらの意思表示を行うにも十分な情報が得られなかった場合、または総会開催通知送付後に議案が取り消される、など稀なケースでは棄権することがあります。</p> <p>2021年、9か国、19企業、49議案に対し棄権しました。同年の当社がグローバルで有していた議案数(会社及び株主提案)、61,118件に対する割合は非常に小さなものであったと考えます。棄権した議案の内、半数以上が役員報酬についての議案であり、企業へ役員報酬制度について懸念があると伝えるために棄権するという手段を選びました。また、企業の開示が不十分であることを示すケース、総会直前に提出され企業が資料を発行する時間がなかった議案においても棄権を選択しています。</p> <p>また、非常に数は少ないもののグローバルで約0.4%の議案に対し、シェアブロッキングが慣行とされる市場(例:エジプトやモロッコなど)にて不行使としました。</p> <p><b>FirstRand, Ltd (南アフリカ): 報酬報告に関する議案に対し棄権</b></p> <p>同社は2020年度の総会においても報酬報告について、パンデミックの影響により失効した役員に対する長期インセンティブ報酬(LTI)の補償に対し懸念をもった当社を含む多くの株主より反対が投じられていた(59%)。当社では総会后、2021年に2回の対話を通じ懸念を伝えるとともに、対応についても対話を重ねた。結果、2021年の総会では同社はLTIに対する懸念を払拭する対応し、当社も同意を伝えた。しかし、2017年及び2018年のLTI制度に基づく株式が授与されなかったことを受け、退職者向けに2017年及び2018年の制度にて支給予定金額であった50%の補填が盛り込まれていた。2020年に続き、2021年も再びパンデミックに起因する報酬の変更及び導入について、投資家に対し事前に対話がなかったことに対し非常に遺憾であり、同議案に対し棄権とした。</p> <p>2021年当社が経営陣へ反対を投じた議案は全体の約9%でした。以下は、重要であると判断した事例となります。</p>
--	-----------------	---	---	---

			<p><b>取締役会におけるジェンダー・ダイバーシティ</b></p> <p>ティー・ロウ・プライスでは市場によってはすでに数年前より取締役会におけるジェンダー・ダイバーシティを議決権行使において考慮しており、女性取締役のいない企業の場合は反対票を投じてきました。2021 年はさらに下記の変更を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 英国：ダイバーシティが向上していることをうけ、議決権行使ガイドラインにてジェンダー・ダイバーシティのハードルを強化。</li> <li>■ 日本：取締役会に女性が不在の場合、最も上席である取締役の選任に反対するガイドラインを導入。</li> </ul> <p>この変更を受け、ティー・ロウ・プライスでは 2021 年よりグローバルにて、単一性で構成される取締役会である場合、または早急な改善計画が公表されていない場合、最も上席である取締役の選任に反対することとしています。</p> <p>ティー・ロウ・プライスでは、ジェンダー・ダイバーシティの観点から反対票を投じることになる企業をあらかじめ特定し、総会より以前に当社の行使方針について企業と対話を行っています。2021 年、グローバルで合計 130 社、280 件の取締役選任議案について取締役会におけるジェンダー・ダイバーシティの欠如を理由に反対票を投じました。</p> <p><b>Ocado Group, Plc (英国)：社外独立取締役の選任に反対</b></p> <p>同社は取締役会における女性比率が 17%と FTSE100 社の中で最下位であり、ハンプトン-アレクサンダー・レポートが目標として掲げている女性取締役 1/3 を大きく下回っている。通常であれば議長に対し反対とするところだが、2021 年の総会にて次期議長候補として取締役に新たに加わったばかりであったため、次に上席である独立社外取締役に反対票を投じた。</p> <p><b>DISCO Corp. (日本)：代表取締役社長の選任に反対</b></p> <p>ティー・ロウ・プライスでは同社の株式を約 2%保有。女性取締役の不在を理由に代表取締役社長である関谷氏の選任に反対。</p>
--	--	--	---

				<p><b>ESG にかかる監督責任</b></p> <p>2021 年は ESG 関連不祥事に対し、取締役会の監督責任を厳しく問う方針を導入しました。ティール・ロウ・プライス独自の投資除外リストにある企業において、重要な ESG 関連不祥事が発覚した企業については取締役の選任に対し反対することと変更しています。</p> <p><b>Rio Tinto Limited (オーストラリア):</b> 会長の選任に反対</p> <p>2050 年 5 月、同社はオーストラリア西部にある 46,000 年前と推定されるアボリジニ遺跡を鉄鉱石採掘場を拡張する際に破壊、CEO と 2 名の役員が退任する事態となった。社内基準や内部指針にそぐわないまま行われることを許容した企業文化および退任する役員に支払う退職金などを巡り大きな議論を呼んだ。トンプソン会長も 2022 年の総会で退任することが決まっていたものの、一連の責任を問うものとして 2021 年の総会にて同氏の選任に反対した。</p> <p><b>McDonald's Corporation (米国):</b> 上席取締役の選任に反対</p> <p>2021 年、長期間同社の取締役を務めている 2 名に対し反対を投じた。2019 年に社員と不適切な関係を持ったとして退任した前 CEO による社内規定違反についておこなわれた調査が 2020 年に公表されたが、裁判を通じ調査の対象期間や第三者による調査の不足など、不十分であったことが明らかになった。当社では同社および上席取締役 2 名に対する反対投票を働きかけている投資家グループ双方と対話を行った結果、十分な調査を行わなかった取締役会の責任は大きいと判断、取締役 2 名に反対した。</p>
--	--	--	--	---

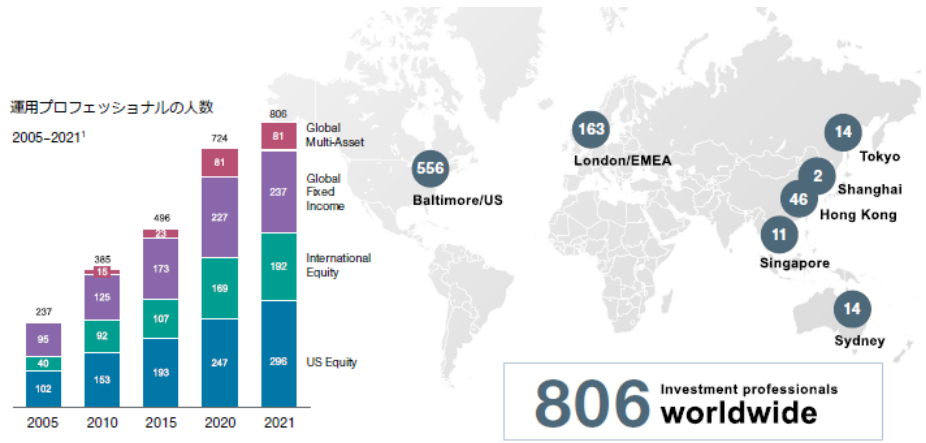
	株主提案賛成 議案の具体的 内容	5	A	2021年、株主提案の議案はグローバルで 1,098 議案あり、内 403 議案は取締役の推薦でした。残りの 372 議案は企業になんらかのガバナンスにかかる対応を求めるもの、323 議案が環境(E)・社会(S)にかかる対応を求めるものでした。近年、企業に対し特定の環境(E)及び社会(S)に関する対応を求める株主提案が増加傾向にあります。当社では、ケースバイケースで判断していますが、TCFD や SASB などグローバルなフレームワークに基づいた企業の取組みの開示を促すような議案以外は慎重に判断しています。近年企業が公表・開示している環境やガバナンスへのアプローチと、企業を代表する業界団体との主張の間に乖離が見られる場合、あるいは政治活動に対する取締役会の説明責任が不十分であると判断した場合は、政治支出とロビー活動に関する透明性の向上を求める株主提案を支持しています。詳細は当社レポート「 <a href="#">賛成？ 反対？ 株主提案 2021</a> 」をご参照ください。
	反対比率の全 年度との比 較・変化の理 由	5	A	グループにて当該期間における経営陣に対する反対比率は 9%でした。（前年比同率）
エンゲージメント活 動の実績	具体的なエン ゲージメント の内容	3,4	A	「エンゲージメント活動実績 2021 年」( <a href="#">こちらへ</a> )をご参照ください。
	投資先企業に 不祥事があっ た場合、当該 企業への対応	3,4	A	投資先企業の不祥事は、当社では独自の RIIM モデルにて定量的にモニタリングしている他、投資テーマへの影響の有無を判断するにあたり更なる情報が必要であると判断された場合は、担当リサーチ・アナリストが主導し対話を行うことがあります。詳細は「エンゲージメント活動実績 2021 年」( <a href="#">こちらへ</a> )をご参照ください。



--	--	--	--	--

● その他

	ポイント	原則	評価	コメント
スチュワードシップ活動に関する報告	報告資料の様式や内容	6	A	ESG アニュアルレポート、議決権行使アニュアルレポート及び当報告書を年 1 回更新し、弊社ホームページにて開示しております。その他、一部の戦略ではポートフォリオにおける排出量及びエンゲージメント事例を含む ESG レポートを半期毎に発行しています。
	報告の時期	6	A	議決権行使については年 2 回、ティー・ロウ・プライスが行使した全ての議案について行使内容とその理由を <a href="#">ホームページ</a> にて開示しています（英語）。日本版スチュワードシップ・コードに基づく開示は毎年 8 月末に <a href="#">ホームページ</a> への掲載を予定しております。
実力を高める工夫	具体的な対応および成果	7	A	体制の整備と人材育成 ティー・ロウ・プライスは、「顧客の成功こそが我々の成功である」という信念に基づき、1937 年にトーマス・ロウ・プライス Jr.により設立されました。以後、「お客様の長期的な資産形成をお手伝いする」というミッションの下、自社のアナリストによるファンダメンタル分析に基づき、長期的な投資ホライズンにてアクティブ運用を主に提供して参りました。我々の責務は、アクティブ・オーナーシップ、モニタリング、建設的な対話、といったスチュワードシップ活動を通じ、顧客の利益を第一に考えることであり、アクティブ運用ではそれを担う運用スタッフの重要性が非常に高いと考えています。主体を担う運用部門、特にリサーチ部門は継続的に企業毎のリサーチ力の強化を行っております。2021 年も引き続き ESG スペシャリストの拡充に加え、ESG に特化したインベストメント・スペシャリストも設置しました。また、独自の責任

			<p>投資モデル(RIIM)では、ソブリンモデルにてデータのカバレッジの拡大、2021 年に運用を開始したインパクト投資戦略におけるインパクト測定に対応するためのデータ・プロバイダーNet Purpose、中国市場に特化した ESG データ・プロバイダー、インド市場に特化した議決権リサーチ・プロバイダーをそれぞれ追加しています。</p>  <table><caption>運用プロフェッショナルの人数 (2005-2021)</caption><tr><th>年</th><th>US Equity</th><th>International Equity</th><th>Global Fixed Income</th><th>Global Multi-Asset</th><th>その他</th><th>合計</th></tr><tr><td>2005</td><td>102</td><td>40</td><td>95</td><td>237</td><td>0</td><td>474</td></tr><tr><td>2010</td><td>153</td><td>92</td><td>125</td><td>385</td><td>15</td><td>765</td></tr><tr><td>2015</td><td>193</td><td>107</td><td>173</td><td>496</td><td>23</td><td>992</td></tr><tr><td>2020</td><td>247</td><td>169</td><td>227</td><td>724</td><td>81</td><td>1348</td></tr><tr><td>2021</td><td>298</td><td>192</td><td>237</td><td>806</td><td>81</td><td>1514</td></tr></table> <p>2021 年 12 月 31 日時点。オーク・ヒル・アドバイザーを除くティール・ロウ・プライス・グループ全体における運用プロフェッショナルの人数。</p>	年	US Equity	International Equity	Global Fixed Income	Global Multi-Asset	その他	合計	2005	102	40	95	237	0	474	2010	153	92	125	385	15	765	2015	193	107	173	496	23	992	2020	247	169	227	724	81	1348	2021	298	192	237	806	81	1514
年	US Equity	International Equity	Global Fixed Income	Global Multi-Asset	その他	合計																																							
2005	102	40	95	237	0	474																																							
2010	153	92	125	385	15	765																																							
2015	193	107	173	496	23	992																																							
2020	247	169	227	724	81	1348																																							
2021	298	192	237	806	81	1514																																							

お問い合わせ先

ティール・ロウ・プライス・ジャパン株式会社

コンプライアンス部

Eメール：Tokyo\_Compliance\_Public@troweprice.com

〒100-6610 東京都千代田区丸の内 1-9-2 グラントウキョウサウスタワー 10F

電話番号 03-6758-3820（代表）

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 3043 号

一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会

202208-2381841